

1)ノロウイルスって何?

- ☆人の腸粘膜で増殖して、食中毒の原因となるウイルス
- ☆食品の中での増殖はしない
- ☆免疫は持続しないので何度でも感染する

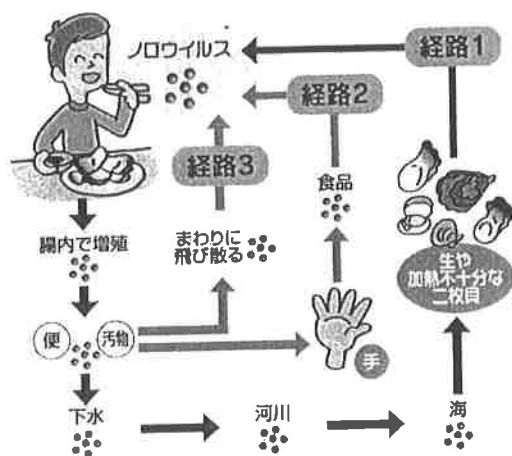
2)感染経路

<食品からの感染>

ノロウイルスに汚染されていた食品を、生あるいは十分に加熱調理しないで食べた場合

<人からの感染>

感染者の便や嘔吐物からの感染
家庭や学校、施設などでの飛沫による感染



◀引用>ねえ、ノロウイルスって知っているわよね? : 仙台市保健福祉センター



飛沫感染とは、咳やくしゃみ等の飛沫により起きる感染です。飛沫は1m以内に床に落ちます。

3)症状

<潜伏時間> 24~48 時間

※感染すると便や嘔吐物には大量のウイルスが含まれます。
下痢等の症状がなくなっても、1週間~1ヶ月程度ウイルスの排泄が続くことがあります。

<症状>

- 吐き気・おう吐・下痢・腹痛・微熱が1~2日続く
- ※感染しても発症しない場合や、軽い風邪のような症状の場合もあります。
- 乳幼児や高齢者は、肺炎・窒息・脱水に注意



4)事例

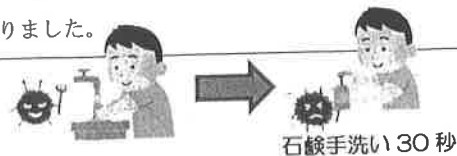
ケース1 感染源:ぞうきん 原因:未消毒

ノロウイルスに感染した人の吐物を「ぞうきん」で拭きました。使用後のその「ぞうきん」は、水洗いをしただけで消毒されないうまま廊下に干されていました。そして「ぞうきん」が乾燥するにつれて「ぞうきん」についていたウイルスが空気中に浮遊し感染が広がりました。



ケース2 感染源:手 原因:手洗い不十分

ノロウイルスに感染したA君は症状が無いのでバスケの試合に出ました。A君がさわったボールにウイルスがつき、B君の手に感染しました。B君は石鹸を使わず、十分に手洗いをしないまま食事をしたため、感染が広がりました。



石鹸手洗い 30秒

◀参考>引川>ねえ、ノロウイルスって知っているわよね? : 仙台市保健福祉センター

5)予防

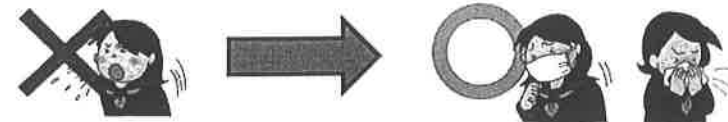
① 手洗い・うがい ……

- * 腕から指先まで、30秒以上、石けんでしっかり手を洗い、うがい
- * <<洗うタイミング>>
トイレ後・食事前・調理前・調理中・帰宅時・嘔吐物や便の処置後等



石鹸手洗い30秒

② 咳エチケット・マスク …… ノドを乾燥から守る。飛沫感染を防ぐ



③ 換気 …… ウイルスの蔓延を防ぐ

- * 廊下側の天窓を常時、開けておく
- * 休み時間ごとに、前後ドアとベランダ窓を開ける

④ 吐物に触れない・吸い込まない …… 感染者の便や嘔吐物から感染します。

- * 「嘔吐物処理キット」設置場所
(教務室 体育教員室 事務室 保健室 ULT 非常勤講師室 寮)



- * 便座のフタがある場合は、流す際にフタを閉めてウイルスの飛散を防ぐ



⑤ 他人と共有しない …… 飲食物、タオル、ハンカチ等、人と共有すると感染の原因になる



⑥ 消毒 …… カーテン、衣類、ドアノブ等を塩素系消毒薬で消毒する

家庭にある塩素系消毒薬



- * 感染者が使った物や衣類は、他と分けて洗浄・消毒する



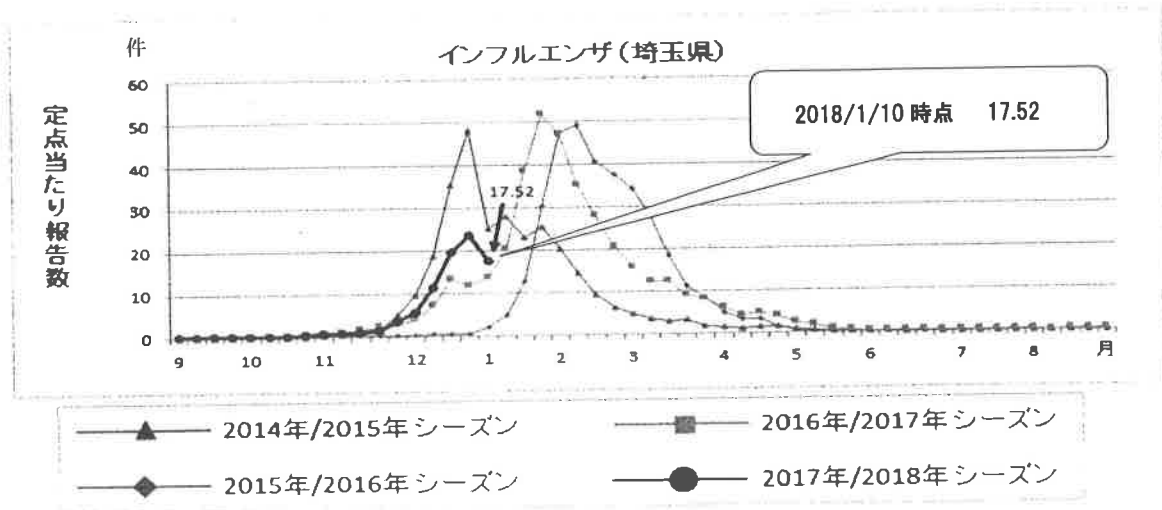
⑦ 加熱 …… 食品は85~90℃以上で90秒間以上加熱し、中まで十分に火を通す。

今冬のインフルエンザ総合対策

1月、本校ではインフルエンザにかかる人が急激に増えました。

グラフは1月10日現在の埼玉県のインフルエンザ流行状況です。

www.pref.saitama.lg.jp/b0714/surveillance/srv-flu.html



一か所の病院(定点)あたりのインフルエンザ患者数は12月最終週より減少しているのは、年始休みのため観測している病院や診療日数が少ないためです。本校では急増していますので今後も引き続き注意が必要です。

ワクチン接種は、

インフルエンザ重症化の予防であり、絶対にインフルエンザにかからないではないので、
ワクチン接種後も予防に努めましょう。

予 防：自分への感染予防だけでなく、周囲への感染も予防しましょう。



1) こまめな換気.....ウィルスを屋外に放出します。



休み時間置きに教室の前後の廊下側・外側の窓を開けましょう。
ドアの上の小窓は常に開けておくと良いです。

2) 毎朝体温を測る.....登校前に毎朝体温を測りましょう。



平熱より高い場合は、保護者と相談し、学校に連絡の上、無理せず早めに受診しましょう。
登校後も、度々教室で体温を測り体調管理をして下さい。
また、体温計は自分のものを常に持ち歩くようにしましょう。

3) 回し飲み・回し食いをしない.....ウィルスが直接口から入ることを防ぐ

ひまつかんせん
＜飛沫感染の対策＞ (飛沫感染：咳やくしゃみなどで飛んだツバ(飛沫)等を吸い込み、感染すること)

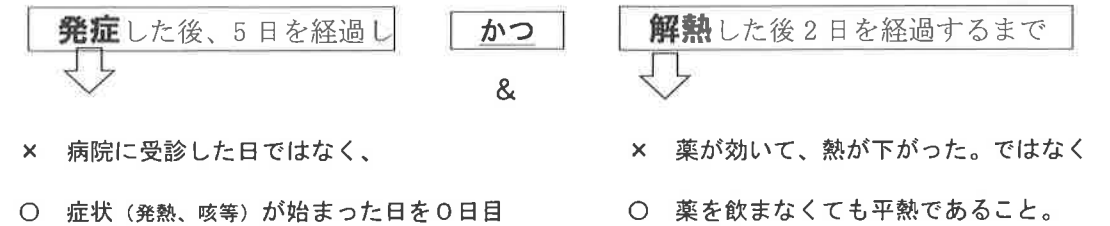
- ①マスクの着用：飛沫が鼻やノドから入れない、飛沫を周囲に飛ばさないようにする。
* 帰宅後、部屋にウィルスを入れないため、玄関でマスクを取り、裏返して捨てる。)
- ②咳エチケット：「広めない！」という他者への思いやりが大切です。
* 咳やくしゃみを他の人に向けて発しないこと。
* 咳やくしゃみが出る時は口をティッシュやタオルでしっかりおおうこと。
- ③人と距離を取る、人混みを避ける：人と距離が近いほど感染しやすくなります。

＜接触感染の対策＞

- ①手洗いの徹底：石鹸でこまめに手を洗い、清潔なタオルで拭く。
* タオルの貸し借りは厳禁！
* 手で、咳やくしゃみを受け止めた時は、すぐに手を洗うこと。
* インフルエンザウィルスには、アルコール製剤の手指消毒も有効。
- ②うがいがいい：ノドに入ったウィルスを外に出し、ノドの潤いを保つのに役立ちます。
- ③外出時は手袋：手にウィルスが付着することを予防します。
- ④洗っていない手で、顔を触らない：鼻や口からウィルスが感染しやすくなります。



「インフルエンザ症状が出ている期間」と「出席停止期間」



	発症日(第0日)	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目	9日目
Aさん	🚗	☀️	🌡️	😊	😊	😊	出席可能			
Bさん	🚗	🌡️	😊	😊	😊	😊	出席可能	発症後5日経過するまで待つ		
Cさん	🚗	☀️	☀️	🌡️	😊	😊	出席可能			
Dさん	🚗	☀️	☀️	☀️	☀️	🌡️	😊	😊	出席可能	
Eさん	🚗	☀️	☀️	☀️	☀️	☀️	🌡️	😊	😊	出席可能
Fさん	🚗	☀️	☀️	☀️	🌡️	😊	😊	出席可能		

🚗 症状が出た日(平熱より熱が高い、咳など) ☀️ 症状あり 😊 症状なし

解熱後2日経過するまで待つ

薬を飲んで平熱に戻っても、ウィルスは体からで続けています。
他の人への感染を防ぐためにも、出席停止期間をよく確認して登校してください。